

科目名称	疾病の成り立ち I (総論)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期		18
担当教員	土居 修	授業に関わる実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 臨床検査技師 ) <input type="checkbox"/> 無	

## 【1】 授業概要

疾病の成り立ちとは正常な身体機能が異常をきたしている状態であり、疾病の成り立ちの概要および疾病の回復に必要な治療について理解し、的確な観察や安全な援助ができるための基礎的な内容を学ぶ。

## 【2】 学習目標

1. 病変発生の一般的なしくみから、各器官系統の主な疾病の成り立ち(病態生理)、診断、治療まで広く学ぶ。

## 【3】 ディプロマポリシーとの関連性

I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力

- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
- 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。

II. 看護を実践する力

- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
- 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
- 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。

III. 人間関係を構築する力

- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
- 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。

IV. 主体的に学び続ける力

- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
- 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

## 【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	病態学とはどういう学問か理解する。	講義
2	先天異常疾患の原因、疾患の種類を知る。	講義
3	退行性病変と進行性病変	講義
4	循環障害	講義
5	循環障害	講義
6	腫瘍	講義
7	腫瘍	講義
8	免疫	講義
9	まとめ 試験	筆記試験

## 【5】 評価方法

筆記試験

## 【6】 教科書

滝本雅文 矢持淑子他著 「看護学入門3 疾病の成り立ち」 第4版 メヂカルフレンド社 2025年

## 【7】 参考書

当日の配布資料

## 【8】 受講生へのメッセージ